

創刊号を振り返って

学院報は創立80周年の1年前にあたる1968年6月1日に創刊されてから、毎年春と秋二回、欠かすことなく発行され、今回で通巻第100号(通称をwith Dignityに変更してからは30号)を迎えることができました。冊子形態の「with Dignity」に変更するまでは新聞のような見開きで、創刊号は8ページ構成で発行されています。金城学院の現状や未来について、また行事や人事などに関して印刷物を通じて学生、生徒、保護者及び教職員の理解と協力を得ることを目的に、今も変わらぬ姿勢で作り続けています。

創刊号を振り返りますと、当時の学院長は戸近太郎先生、副院長が近藤武一先生、宗教総主事が富田望先生でいらっしゃいました。戸近学院長が巻頭特集で金城学院のこれまでの歩みの概要を示され、3ページ目以降には、各学校の施設の現状が紹介されています。特に施設については、「威容を誇る永久校舎一戦後に建てた10棟」の見出しのもと、各校舎の外観写真が紹介されています。そこには旧中学校の信愛館、恵愛館も紹介され歴史が感じられます。

戸近太郎先生は創刊号で、「金城学院は規模が大きくなり、変貌しようとも建学の精神は、全然変わることはない。金城学院

の教育目標は、人は霊とからだから成立していることを認識し、それぞれ個性のある教養高い女性を育成するためである」と言っておられます。

2019年に金城学院は創立130周年を迎えます。戸近太郎先生の言葉を礎に、これからも建学の精神を堅持して歩む金城学院の姿を学院報でわかりやすく、楽しく伝えていけるように努めていきたいと願っています。

金城学院報創刊号



学院報編集委員会

クリスマスメッセージ

「キリストは、神の身分でありながら、神と等しい者であることに固執しようとは思わず、かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。」

フィリピの信徒への手紙2章6～7節a

『クリスマスという決断』

キリスト教の神は〈全能の神〉と呼ばれることがあります。しかし神はあえて、その全能を行使して一つの選択をとる決断をされました。それはクリスマスの出来事、すなわち神は独り子イエス・キリストとして、私たちと同じ人間となってこの世に来て下さり、私たちの罪を背負い、十字架の死に至る生涯を送って下さったことです。そのご生涯を通して私たちは、重荷を負っている他者に仕える歩み、愛を以て接していく生き方が示されました。だから私たちもまた、隣人と共に歩み、隣人に仕える生き方を選びとりたい——クリスマスのこの時、愛の労苦に生きようとする全ての方たちの歩みの上に、神の祝福と導きが豊かにありますように。

落合 建仁 (金城学院大学 文学部宗教主事)

「みどり野会(同窓会)より」

みどり野会は1903年に設立された金城学院の卒業生が集う会です
『みどり野会』という名称は大正9年(1920年)
旧約聖書詩篇第23篇から名付けられました

「主はわが**ほくや**牧者なり われ**とも**乏しきことあらじ
主は我を**われ**みどりの野に**の**ふさせ **いこい**の水濱に**みどは**ともなひたまふ」
神さまによってこの学院に集められた私たちが
卒業後母校に集まり **いこい**の時を過ごす場という意味で
「みどり野会」はいつも皆さんと共にあるのです

みどり野会からのお知らせ

2017年度クリスマス讃美礼拝

- 日 時／2017年12月9日(土)10:30～
 - 場 所／金城学院中学校 白百合館礼拝堂(駐車場は利用不可)
 - 礼 拝／日本基督教団中京教会 松本 周牧師
- クリスマス讃美礼拝とテナー独唱のミニコンサートを予定しています

2018年度 みどり野会総会

- 日 時／2018年4月21日(土)10:00～14:00
- 場 所／名古屋 東急ホテル
- 礼 拝／日本基督教団名古屋教会 田口 博之牧師

2018年度 修養会

- 日 時／2018年6月27日(水)
- 場 所／アクアイグニス(湯の山温泉)
- 礼 拝／日本基督教団鈴鹿教会 石田 聖実牧師

◎お問合せはみどり野会事務局まで
本 部 TEL.052-931-4480(中学校白百合館1階)
分 室 TEL.052-798-0193(大学本部棟4階)
H P http://www.kinjo-midorino.com
※活動情報は会報「みどり野99号」をご覧ください